

エンピリカルソフトウェア工学研究会



## SECでのEPM実証実験 (SEC先進プロジェクト)と IPAによるEPM普及施策の状況

2006-10-16  
神谷芳樹  
IPA/ソフトウェア・エンジニアリング・センター (SEC) 研究員  
奈良先端科学技術大学院大学 (EASEプロジェクト) 研究員

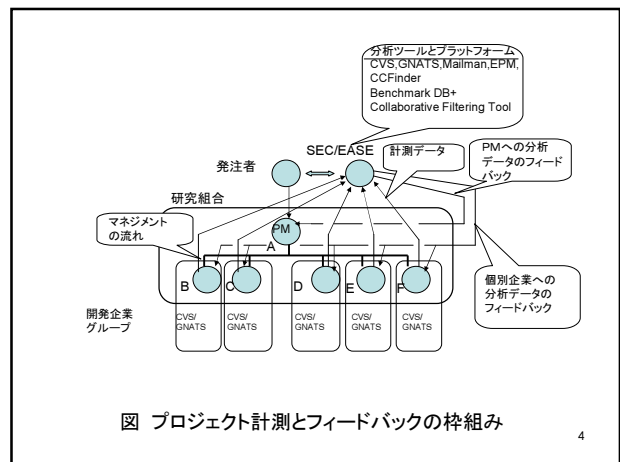
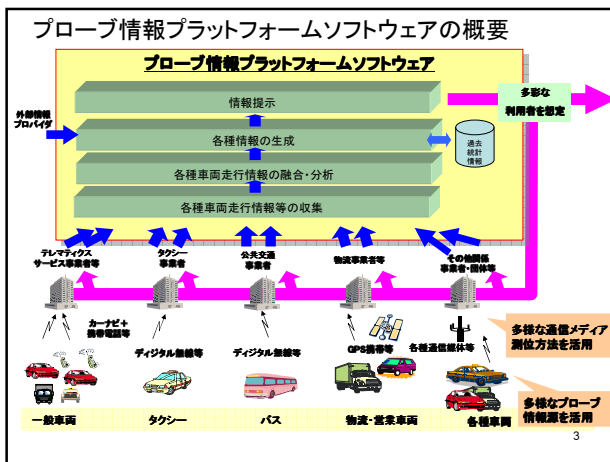
1

## SEC先進ソフトウェア開発プロジェクトとは

- 先進的な経済社会の基盤として機能するソフトウェア、  
具体的には、ITSプラットフォームとして  
**プローブ情報プラットフォームソフトウェア**の開発を  
ソフトウェアエンジニアリング技術研究組合 (COSE) にて進める
- 当該ソフトウェア開発を進める中で、EASEプロジェクトの  
協力得て、SECが**ソフトウェアエンジニアリングに沿った手法**を  
適用する

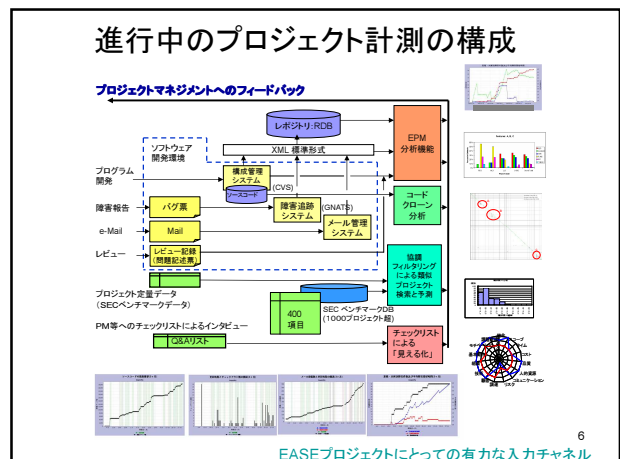
2



## 枠組みの特徴

- 研究組合型開発方式としては標準的
- 元請型開発方式の多くの特徴を合わせ持つ
  - マルチベンダ広域開発
- 情報: 協調領域と競争領域を峻別
  - 協調領域の情報: 共有
  - 競争領域の情報: 秘匿
- 社別に秘匿される情報
  - ソースコード、SLOC、生産性関連情報、詳細設計
  - ただし、PMにはSLOCは提示される
- PMIには、ある種のブラインドマネジメントが求められる
- SECが提供を受ける情報は、研究用途に限定して利用する
- SECは機密室等を用意し、情報管理を行う

5



プローブ情報プラットフォームソフトウェア開発の事業計画


年度	H16*	H17*	H18*
プローブ情報プラットフォームソフトウェアの開発	一次開発	実証実験1	二次開発
			実証実験2
ソフトウェアエンジニアリング(SE)の実践	SE適用検討	SE適用・評価	SEのフィードバック・評価

### 二次開発(今年度)の狙い


- 分析の自動化
- データの読み方ガイド
- 上流ドキュメントの分析
- ITスキル標準によるチーム評価の導入
- 新手法の試行

ターゲットプロジェクトの条件  
 一次開発: 比較的新規開発  
 各社担当のサブシステムを連結して稼働させる  
 二次開発: 新規追加+構造整備(改造)  
 社間でオブジェクト提供  
 →よりリアルなプロジェクト

(計測・分析・フィードバック行為の開発プロジェクトへの組み込み)



- プローブシステムの公開デモ計画 (2月予定)



SECの活動 先進プロジェクト(1)  
 見える化部会(2)  
 定量データ分析部会(3)  
 見積もり部会(4)

他にSECjournal

EASEプロジェクトにとっての有力な出力チャネル

### IPA(情報処理推進機構)公募事業

#### 「ソフトウェア開発プロジェクト可視化ツールのパッケージ化(EPMツール)」

- IPAの開発支援事業: (扱い)IPA開発支援部
  - ソフトウェア 開発技法普及ツール開発事業の一環
  - SEC:公募要領作成支援ほか継続的に協力
- 公募内容 (IPA-Webサイト参照)
  - EPM配布キットの実現: オープンソース版を再評価し、これを母体に、追加、改造、入れ替え
  - 検証作業 + 事業化の提案
- 開発統括責任者:
  - 松本健一教授(奈良先端大)にIPAより委嘱
- 開発担当 (敬称略)
  - 日立システムアンドサービス
    - EPMコンソーシアム
      - 日立システムアンドサービス, NTTソフトウェア, SRA先端技術研究所, 日立公共システムエンジニアリング
    - 横河デジタル
  - キャッツ

### EPMツールの配布キット化の狙い

- ソフトとして企業の使用に耐えること
  - 堅牢性、拡張性...
  - セキュリティ
- インストールしやすいこと
- 検証済み
  - Linux Distribution
  - Hardware
- 使いやすいこと
- 豊富な分析ツール
- 適用範囲拡大 Subversion, 影舞
- サポート
  - 導入サポート, 初期運用サポート
  - マニュアル, シナリオ
  - セキュリティパッチ
- オフショアリング対応
- さらに(予定)
  - 同梱: 協調フィルタリングツール試供版
  - 同梱: コードクローン分析ツールCCFinder試供版(神谷年洋氏)

C/S型にEclipseを介して

パッケージソフトとして 当たり前の品質

2006年12月 完成予定

### IPAの2008年の計画(今回の公募の一部)

2008年1月~

- EPMツールの検証活動
  - 10プロジェクト以上に適用し、実質的にSEC先進プロジェクト型の実証実験を実施したい
  - 開発側の担当体制は、開発時を引き継ぐ
  - エンタープライズ系と組み込みソフト系分野を開拓する

キャッツ殿ESEC参考出展:2006-6

